

「小児ストーマ造設患者の成長過程におけるストーマ位置の変化」の看護研究
へのご協力（ご参加）のお願い
患者様・ご家族様用

この調査はストーマを造設されたお子様とご家族の方をお願いしています。

小児期は成長により体格は大きく変化します。小児期に造設されたストーマは体格の変化に伴い、ストーマの位置が変化すると言われていたますが詳しいデータはありません。

今回成長に伴うストーマ位置の変化の調査をおこなうことになりました。

1. 研究目的と意義

小児期にストーマを造設する患者様の年齢は様々であり、体重では500g程度から～60kg以上の場合もあります。小児期にストーマ造設をする疾患の特徴として、年少時にストーマ造設をすることが多く、成長に伴い体格は大きく変化します。ストーマの位置は成長に伴い、肋骨弓よりに偏位していくと言われていたますが、詳細なデータや文献は見当たりません。

今回成長に伴うストーマ位置を計測し調査することで、位置の変化が明らかになれば、長期にストーマを保有する患者様のストーマ造設時に、成長を考慮したストーマサイティングができ、患者のストーマケアの質の保障ができると考えています。

2. 研究の方法

参加に同意をいただきましたら入院中、あるいは外来受診時に定期的に計測をおこないます。計測部位は身長、体重、腹囲、腹部の幅、剣状突起から恥骨の距離、ストーマサイズ、ストーマの各部位との距離です。計測は入院中や外来受診のタイミングでおこない、計測のみの受診は不要です。計測の間隔の目安は0～2才は3か月に1回、2才以上は半年に1回です。計測に要する時間として10分程度（ストーマケア時間を除く）と考えています。計測期間はストーマ保有期間とし、最長10年です。

3. 患者様・ご家族の利益、不利益

期待される利益として、ストーマの再造設が予定された場合、研究の成果により、成長を考慮したストーマの位置決めができる可能性があります。予想される不利益として、患者様・ご家族の方には計測にかかる時間の負担や計測のための一時的な身体拘束による心理的負担が生じる可能性があります。計測に必要な時間は10分程度の予定です。

3. 研究成果の公表

お伺いした内容について専門とする関係者の間で発表し、情報交換や話し合いをします。

4. その他人権保護に関して必要な事項

個人のプライバシーを守り、個人が特定できないように細心の注意をはらいます。

ご賛同いただけるようでしたら同意書に署名をお願いいたします。

ご賛同いただけない場合でも何の不利益もございませんし、途中で中止いただいても結構です。